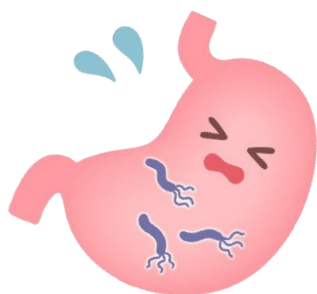


☆ 胃内視鏡検査について

口または鼻からカメラを挿入し、喉、食道、胃、十二指腸を観察、ポリープ・炎症・潰瘍・がんなどを見つける為の検査です。

胃がんによる死亡数は高く、男性で**第2位**※、女性で**第4位**※と言われており、早期発見がとても重要です。また細菌の一種であるヘリコバクター・ピロリに感染すると、胃に炎症が起きたり、潰瘍ができたりすることがあり胃がんになる可能性が高くなると報告されています。

(※2018年 国立がん研究センターデータ)



- みぞおちや胃のあたりが痛む
- よく胸やけがする
- 食べ物が飲み込み辛い
- 食事が取れない、食欲がない

このような症状がある場合は、内視鏡検査をお勧めします。

☆ 当院の胃内視鏡検査の特徴

当院では苦痛を軽減する為、鼻カメラを推奨、口からの場合も細いカメラで実施致します。

ご希望があれば鎮静薬を使用し、眠っているもしくはボーっとしている間に検査を実施致します。

【鼻カメラの特徴】

- 吐き気が少ない
- 検査中会話ができる
- 苦痛が少ない

カメラ先端約5mm

えんぴつ約7mm

